

三高地区が盛り上がるきっかけのお店になりたいです。



Felice Kitchen 中森 聰さん

Go ON!



坂村 陽平さん

飲食店をやっていたわけでもなく、建設業や釣り具販売など畑違いのことをしていました。そんな時、人生の転機といた。それが、江田島市からの事業者募集の話を聞いて『自分の本当にしたいことをしてみよう』という思いが出てきたのです。飲食店へのチャレンジ、そして江田島市への移住など、思いきった決断をした中森さんは、だつたが、実は昔から江田島市には深い縁があったといふ。『僕の祖母が大柿高校の先生だったんですよ。なので必然的に父親は江田島市で幼少期を過ごしていました。だから、僕が小さい頃は父親に連れられて江田島市に何度も来ていたんです。釣りに来たり海水浴に来たり…。勝手に『第二の故郷』じゃないですか、親しみは常にあって、昔から大好きな場所でした』

ここ数年、江田島市の人口が減少しているというニュースも耳にしていた。ニュースを聞く度に、何か手伝いができるなら今なんじやないかとされば…という思いもあった。そんな中での事業者募集の知らせ。「大好きな場所で何かを買える場所があまり無いじゃなかったら、喜んでくれるなら、小さなお店で開いて、アドバイスをくれる人もいて。みんなさんの意見を聞いていたり、喜んでもくれるなら、小さなお店が新しく「みたかゲートハウス」としてオープンした、三高港の切符売り場横にあるお店『Felice Kitchen』は、スマージーなどの軽食販売を行っている小さなホットスポットだ。三高港を利用する人は、もはやお馴染みのお店かもしれないと、通っているお客さんですらよく知らないという、謎多き店に迫ります。

ETAJIMA Go ON!

Vol.10



Vol.10
フェリーチェ キッチン
Felice Kitchen
さとし
中森 聰



三高港にある『Felice Kitchen』は2020年8月7日に開店した小さなお店だ。「おすすめは江田島産の野菜などを使用したグリーンスムージーですね」と優しい口調で話してくれたのは、このお店のオーナー中森さん。そしてもう一人、一緒にお店を切り盛りしているのが地元市民の引地玲子さんだ。元々、中森さんの奥様の親友であつた引地さんと「いつか二人で何かしたいね」と冗談半分、本気半分で話していた中で、2017年に江田島市から港湾施設に入る事業者募集の知らせが出た。引地さんの地元・江田島市という点や中森さんのタイミングも良く、応募したのがお店の始まりだそうだ。

「僕は生まれも育ちも広島市内。このお店のオープンと共に家族で江田島へ移住してきました。それに、元々

第一の故郷で飲食店にチャレンジ

に、このお店でできることは

小さなことでもやってみたい。『三高港と広島市をつなげる、架け橋のようなお店にできる』

「三高港に楽しんでもらえる軽食販売をメインに、今では小さなお土産屋さんの役割も担っているが、島で暮らす中で、中森さんは江田島市に対するより強い思いが出てきていた。「江田島で採れた野菜使ったメニューを増やしていく」

しでも三高地区が盛り上がり始めました。そこで、中森さんは「小さなお店なので、江田島市を感じることのできるお店にしたい」というのが今、市内で活躍するさまざまな事業者の商品も置いてある。中森さんは「小さなお店なので、目新しいものを置かないと飽きられるでしょ(笑)?」と笑つたが、その言葉には観光客だけではなく、地域の方々を思う気持ちが溢れていた。「お弁当も、この近くにあったスーパーでも有名だったので：お店を買ってからお弁当を買う場所があまり無いという話を聞いて、何かお手伝いができれば」という思いで始めたんです」

27



- 1.中森さんおすすめのグリーンスムージー(450円)。野菜と果物たっぷりでとても爽やかな味わい！お子様にもおすすめです♪
- 2.人気の日替わり弁当やスペシャルスムージーなど、こだわりが詰まったメニューがたくさん。三高港にお立ち寄りの際はぜひ覗いてみてください！